

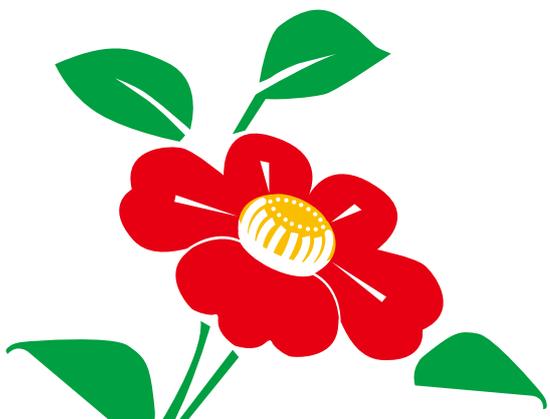
熊本県看護連盟

ひごつばき

HIGO TSUBAKI

vol. 38

2020.10.1発行



CONTENTS

会長あいさつ(矢野メリ子・本尚美).....	2P
看護職代表国会議員の活動	3P
2020年度 熊本県看護連盟通常総会	4~5P
2020年度 新役員名簿・新役員・新支部長紹介.....	6P
新型コロナウイルス感染症 現場の声	7P
令和2年7月豪雨災害	8~9P
研修報告・LINE登録案内(日本看護連盟・たかがい恵美子参議院議員・石田まさひろ参議院議員) 10P	
たかがい恵美子の活動報告	11P
入会会員数・お知らせ・編集後記	12P

熊本県看護連盟会員数：7,236名(2020年9月15日現在)

熊本県看護連盟会長あいさつ



熊本県看護連盟
会長

矢野 メリ子

7月の「令和2年度豪雨」により県南県北が大きな災害にみまわれ、多くの方々が被災されました。現在でも復旧がままならない状況が続いており心が痛みます。被災された皆様にお見舞い申し上げます。コロナ禍に加え「命の危険」といわれる猛暑が続き、熱中症のリスクも高まりました。そのような中で、会員の皆様にはお変わりなくご清祥にお過ごしのことと存じます。

さて、今年度の熊本県看護連盟通常総会は6月27日に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から縮小して開催いたしました。審議事項、報告事項すべて承認され滞りなく終了することができました。会員の皆様方にはご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。

今年度の重点方針は「見える活動、行動する会員、確かな組織づくり」とし12支部と共に活動してまいります。永年親しんできたスローガンも今年新しく変わりました。

奇しくも今年はフローレンス・ナイチンゲール生誕200年です。今、感染対策に大きな足跡を残したナイチンゲールの業績が見直されており注目されています。看護の力で健康な社会を創る事が私たちの目標でもあり、国民から求められています。

新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、看護連盟活動も制限されておりますが、状況を見ながら前に進められたらと思っています。石田まさひろ先生も豪雨の後、人吉球磨芦北方面への視察を希望されておりましたが、実現できておりません。たかがい恵美子先生も管理者セミナーで8月1日においでいただきましたが、人吉方面への視察は出来ませんでした。又の機会としたいと思います。

この度の安倍総理の突然の辞任表明に驚き、ショックを受けました。自民党総裁選挙では熊本県は党員による投票が行われ、自民党党員である会員の皆様は清き一票を投じられたことと思います。色んな批判もありましたが党員としての自覚を持ち見守っていきたいと思います。

夏の疲れが出てくる時期です。体調管理をしっかりと多くの困難を乗り切ってまいりましょう。

看護協会会長あいさつ



熊本県看護協会
会長

本 尚美

この度、令和2年度熊本県看護協会通常総会並びに理事会を経て、会長に就任しました本尚美でございます。

7月の豪雨で被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、災害支援ナースとして避難所および病院へのご支援をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

また、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、熊本でも感染者が増えている中、最前線で予防や診療に従事し、地域医療を支えていただいている皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。このような時、保健医療に関わる看護職に求められる役割の大きさを改めて感じているところです。看護協会では、看護管理者の方へ状況の調査を行い、不足物品の確保や看護職への危険手当の支給、妊娠中の休業に伴う代替職員の確保などを県へ要望するとともに日本看護協会を通じて国等への要望を行ってまいりました。

今年度の看護協会の総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小した運営方法で開催し、役員改選など全て承認され、新体制で事業を進めております。研修等は、参加人数の制限、リモート研修、開催時の感染防止対策を徹底しながら実施しているところです。9月5日に看護管理者が政策提言の視点を持つことを目的に

開催した看護管理者会（中央開催）もリモートで実施いたしました。講演は、昨年度の坂本すが氏の「看護管理者として現場の課題を政策提言につなげる」に続き、今年度は日本看護協会常任理事吉川久美子氏を講師として「政策提言、診療報酬改定への道筋」というテーマで開催し、意見交換を行いました。看護の現場では日々様々な管理的課題が上がってきます。現場の努力だけでは解決しない問題、新たな課題に対しては、政策として解決の道を探さなくてはなりません。また、看護職の専門的な力を十分に発揮するためには、多くの看護職が看護協会・看護連盟の会員となり、社会に向けての発信力や影響力、職種を守るサポート力を強める必要があると考えます。

コロナ禍の中ではありますが、看護職の皆様一人ひとりが安心して役割を發揮できるよう、今後も看護連盟と連携して、教育の充実と労働環境の整備、組織力強化に尽力いたします。会員の皆様方には、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

看護職代表 国会議員の活動をまとめました



あべ俊子
衆議院議員

コロナ禍による医療、経済へのダメージを回復させつつ、コロナへの対策を着実に進めていきます。

1. コロナと戦う医療者への支援強化
 - ・患者対応する医療介護従事者らに最大20万円の慰労金を支給
 - ・医療職の危険手当財源・地方創生臨時交付金の拡充(2兆円)
 - ・訪問看護ステーションへのマスクの支給を実現
 - ・地域医療を支える助産所、訪問看護ステーションに最大70万円支給
2. 学童保育
 - ・学童保育の対応額を倍増、保護者の追加負担なし
3. 保育園
 - ・保育所等におけるマスク購入等の感染拡大防止対策に係る支援



たかがい恵美子
参議院議員

1. 感染防御力の向上と地域医療の補強
2. 文科部会長として幼小中高大それぞれの観点から検討を行った。
3. 新型コロナウイルス関連対策本部では、感染症有事の概念形成と法的基盤の整備、指揮及び実働体制の整備、雇用安定化措置など提言をまとめ提出した。
4. 東日本大震災から10年となり、復興加速化本部では産業振興と新たな防災体制のあり方を盛り込んだ第9次提言をまとめ提出した。
5. TV出演
 - 報道ライブインサイドOUTにゲスト出演した。



石田まさひろ
参議院議員

1. 厚生労働省と交渉し、備蓄のシステム構築を来年度予算で確保する。(必要な時、必要なところに隅々まできちんと物資を届ける仕組み)
2. 有効で機能的な備蓄のシステム構築に力を注ぐ。(現場での管理、地域での情報や物資共用、都道府県や国での生産・備蓄・流通管理等をトータルで行う)
3. 政策資料作成
 - ①通所リハビリが必要となった原因として脳卒中が最も多い、脳血管疾患を減らす為の生活習慣病予防対策
 - ②サービス種別介護費用額割合の推移や認知症対応型共同生活介護の請求事業所数について



木村やよい
衆議院議員

1. 子どもへの性虐待・性犯罪防止策に対する緊急提言
 - ・内閣府からも上記の件について強化方針が発表された。
2. 慰労金実現
 - ・新型コロナウイルスと闘う看護師への支援として最大20万円の慰労金を実現
3. 医療的ケア児に対する支援
 - ・看護師が教員免許の有無に関わらず教諭として2021年度から採用できるように議員立法を準備している。
4. 「こども宅食」の制度化を目指す議員連盟発足
 - ・見守り、虐待早期発見、自立支援につなげていくことを目的としている。

令和2年度 熊本県看護連盟

日時：2020（令和2）年6月27日（土）14:00～15:30

場所：ホテル熊本テルサ

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため参加人数を制限し、縮小して開催しました。

熊本県看護連盟会員数7,189名
(2020年6月27日現在)

出席者 44名（一般会員29名、役員13名、
議長2名）

委任状 6,222名

総数 6,266名



2020年度は『みえる活動 行動する会員 確かな組織づくり』を重点方針

熊本県看護連盟会長 矢野メリ子



名誉会員表彰 重松 節美様

新型コロナウイルス感染対策においては、各施設や地域で使命感をもって最善を尽くしておられる看護職の皆様方に感謝するとともに敬意を表します。今年度は、縮小しての総会開催となりました。華々しく60周年を祝う総会になると密かに期待しておりましたが、残念でした。その中で、今回、前重松会長が名誉会員になられました。熊本県で4人目の名誉会員です。9年間会長としてご尽力されました前会長に感謝を込め記章をお贈りいたしました。

通 常 総 会

総会は、2名の議長を選出して、議事に入った。
報告事項はすべて承認され、審議事項の第1号議案 から第6号議案まで承認された。



審議事項

第1号議案	名誉会員の推薦
第2号議案	2020年度 スローガン (案)
第3号議案	2020年度 活動計画 (案)
第4号議案	2020年度 予算 (案)
第5号議案	2020年度 選挙対策 (案)
第6号議案	2020年度 役員選出

日本看護連盟綱領

1. 私たちは一人一人の知恵と力を結集し、国民福祉のため協力なる活動を推進します。

1. 私たちは「看護は一つ」の旗のもとに、看護制度改革と労働条件の改善のため、協力なる政治活動を推進します。

永きにわたりご貢献いただきありがとうございました



副会長 山本 史恵様 幹事 齊所 純子様
支部長 寺田美智子様

2020年度スローガン「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」が承認された。

2020年はフローレンス・ナイチンゲール生誕200年です。今まさに、感染対策、環境管理が重要な年といえます。今の看護の知見と政策を今後の未来へつなげていくことが看護連盟の役割だと考えます。

看護職一人ひとりが主役の看護連盟の活動を今後ともよろしくお願い申し上げます。

2020年度 熊本県看護連盟役員・支部長 令和2年9月

役員・顧問				支部長							
会長	矢野	メリ子	幹事	村上	元子	熊本1支部	村上	元子	県北2支部	渡邊	由美子
副会長	笹井	テルコ	幹事	瀬高	香澄	熊本2支部	吉澤	裕美子	天草支部	池崎	富美子
副会長	嶋田	晶子	監事	高島	和歌子	熊本3支部	蓑田	純子	県南1支部	田中	裕貴
幹事長	工藤	秀子	監事	道端	由美子	熊本4支部	村本	多江子	県南2支部	瀬高	香澄
財政部長	白石	登美代	顧問	城	慶子	熊本日赤支部	村田	千福	県南3支部	前田	豊
幹事	岩城	まつ子	顧問	重松	節美	県北1支部	税田	葉子	県南4支部	藤村	友子
幹事	税田	葉子									

新役員・新支部長紹介



副会長 嶋田 晶子

熊本地震以降、コロナ渦、九州豪雨災害そしてこのたびの第10号台風と息つく間もなく災害に見舞われています。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、コロナ感染症対策や医療現場で支援にあたられている皆様に心から感謝申し上げます。

さて、この度の熊本県看護連盟通常総会において副会長に選任され2ヶ月半がたちました。この間各会議等で会員の皆様はじめ支部長、役員の方々が精力的に活動されている中でいろいろと学ばせていただいています。また、看護協会と看護連盟の連携がいかにか重要かを強く感じています。現在規約改正委員の一員として規約の検討を行っていますが、よりよい組織運営ができますよう力を尽くして参りたいと思っています。そして、皆様と共に会が発展できますようしっかり取り組んで参りたいと思っていますので皆様のご支援方よろしくお願いたします。



幹事 瀬高 香澄

この度、熊本県看護連盟役員の幹事を務めさせて頂くことになりました。

現在、県南2支部の支部長として3年目を迎え、連盟の役割と活動を理解し、組織力の重要性を感じているところです。県南2支部の会員数は少ないですが、看護協会八代支部役員の皆様のご協力とご支援を頂きながら看護連盟の支部活動を行っています。

令和2年度は、7月の豪雨災害からの復興支援や新型コロナウイルス感染症対策で各施設大変なご苦勞をされていることと存じます。このような非常事態において国や県と連携を取りながら、熊本県看護連盟の重点方針である「見える活動、行動する会員、確かな組織づくり」に基づき、幹事としての役割を果たせるよう活動していきたいと思ひます。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。



熊本3支部 支部長 蓑田 純子

今年度より、熊本県看護連盟熊本3支部支部長を拝命いたしました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大や自然災害により皆様大変な状況におられると推察いたします。医療従事者、特に看護職についてはこのような状況下で、地域の方々に大変頼りにされております。看護職が笑顔で専門的な知識・技術を必要としている方々に提供できるよう、連盟活動を通して応援していきたいと思ひしております。どうぞよろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染症～現場の声～

新型コロナウイルス感染症の緊急事態はチーム力を強くする ～ピンチをチャンスに変える～

熊本託麻台リハビリテーション病院 看護部長 猪本伸子

2020年2月17日の夕方感染指定病院からPCR検査陽性の電話を受けた。熊本県最初の感染者が当院看護師であった。どうして熊本県1例目が当院の看護師なのかと正直落胆した。

そして8月4日、2例目が出るとは思ってもいなかった。まさかの100例目の感染者である。しかし2例とも院内クラスターを発生することはなかったのは本当に幸いであった。

この経験は私個人にとっても、組織にとっても大きな経験であり、連携・思いやる・協働とチーム力を強くすることに繋がったことは大きな収穫である。

一つは緊急事態における組織体制がすぐにとれるようになった。これは熊本地震を経験していたことが大いに活かされている。一例目の発生がわかった時、すぐに対策本部が立ち上がり、ICTとの連携、各部署への感染情報、対策提供・共有ができ、それぞれのリーダーが自主的に動くことができた。

二つめは感染者、接触者を労わる仲間としての思いやりである。一例目は人工呼吸器を装着するなど重症化し毎日祈る思いで回復を願った。彼女が職場復帰したときはみんなが泣いて喜んでくれた。彼女の復帰がスタッフの心の支えとなっていたことを実感した。2例目もスタッフがまめに連絡を取り合ってくれた。復帰後も何事もなかったようにフロアがそして組織が受け入れ、当院の「心のケアチーム」と「熊本市こころの健康センター」が協働でサポートしてもらった。これも熊本地震の時の「チームで支えあう、思いやるということ」を経験し、さらに新型コロナウイルス感染症で強まったと言える。

三つめは、フロアで協働することである。当院は今、各フロアが運営の中心となり、リハ部、看護部それぞれの責任者は存在しないという、新しいフロアマネジメント体制を進めている。各フロアが部署であり、各フロアチーフ、サブチーフがリーダー業務をシェアし、マネジメントしている。その一つが看護師接触感染者の自宅待機で人員不足にも職種の垣根を越えて、セラピストがケアに入り、早出・遅出そして夜勤まで協働でシフトに入ってくれた。部署ではなくフロアの問題として考えてくれるようになったことはチーム力が強化したと言える。熊本地震、新型コロナウイルス感染症は病院組織にとって経済的には大きな痛手となったが、組織力、チーム力の強化という財産を得ることができた。この財産は現在進めている新しいフロアマネジメント体制を一步先に勧め、部署間でのタスクシフトを実現するきっかけとなった。まさにピンチはチャンスである。

私も看護部長になって7年、たくさんの事を経験した。その中で学んだものは『転ばないことの準備より転ぶたびに起き上がり続けること』かもしれない。

お知らせ 病院・診療所・訪問看護ステーション・助産所等の管理者の皆さまへ

「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業」のご案内

医療機関等で働く医療従事者や職員の皆さまに心からの感謝の気持ちとともに慰労金を給付します。医療機関等を通じての申請と給付にご協力をお願いします。

給付金の内容

- 新型コロナウイルス感染症に対する医療提供に関し、都道府県から役割を設定された医療機関等に勤務し患者と接する医療従事者や職員（※1）に対し、慰労金として最大20万円を給付します。
- その他病院、診療所等に勤務し患者と接する医療従事者や職員にも、慰労金として5万円を給付します。

※1 医療従事者や職員には、医療機関等に直接雇用される職員のほか、派遣労働者、業務委託受託者の従事者を含みます。

令和2年7月豪雨災害

熊本県看護連盟は災害直後の7月4日から電話にて災害状況聞き取りを開始する。

豪雨災害会員聞き取り報告 (7月4日～7月10日)

- 浸水被害、道路損壊で思うように活動出来ない。実家も被害、職員一人と連絡が付かない
- 津奈木方面の被害が大きい。浸水被害でデイサービスが出来ない。
- 病院駐車場が浸水、9時半に緊急ダム放流計画がされている。
- 病院1階が浸水しており、外来、救急が受けられない。
- 人吉医療センターへの助産師支援依頼、3名確保し、道路の改修後直ちに応援に入る。
- 検査機器が使用できない。
- 地域の医療機関が被害を受けているため、人吉医療センターにDMATが入り、拠点病院として患者を一手に引き受け活動している。
- 看護師30人が被害に遭っており、現在15人出勤できず現場に支障が起きている。
- 職員の家族に不幸があり、職員の不足が生じ24時間勤務を強いられている。

助産師会との連携支援

熊本県看護連盟は助産師会と密な連携を取り助産師支援に動く。3名人吉医療センターに支援に入る。熊本市民病院からも助産師、看護師支援に入る。

分娩が3倍になり衛生材料・育児用品・リネン類不足の問題が生じている。

災害の為、分娩誘発、異常分娩も考えられるとSOSあり。リネンが洗濯できない。新生児の服、バスタオル、液体ミルク、哺乳瓶、消毒用ミルトン・等の不足物品がある。



人吉市・西瀬橋崩壊 (7月15日撮影)



坂本町様子 (7月20日撮影)



人吉市内 (7月5日撮影)



葦北町 かけ崩れ (7月8日撮影)



相良村 家屋土砂流木侵入 (7月13日撮影)

豪雨災害地訪問

7月16日(木) 矢野会長と笹井副会長は、県南3支部長前田氏の案内のもと水俣市、人吉市、芦北町、津奈木町中心に災害地訪問をした。

災害から12日経っているが、球磨川沿いの兩岸を走る国道は至る所にがけ崩れ、橋の寸断、多量の流木等の堆積により、田畑、家屋に大量の土砂や泥水の流出の跡が見られ、高い電線の位置まで小枝が絡まっている。ボランティアの姿は少なく、地域住民による作業が行われている状況である。

訪問先は下記の通りです。

医療機関	介護施設	地元県議会議員訪問
岡部病院 水俣市立医療センター 芦北療育医療センター 人吉医療センター 堤病院	新清苑(老健) 五松苑(特養) 田浦荘(特養) あけぼの苑(特養) 美里(有料老人ホーム) 野坂の浦荘(救護施設) 石落(つわぶき)の里(障害者支援施設) みつば学園(障害者支援施設)	吉永和世(水俣市) 荒川知章(芦北町)

被災支部からの報告

熊南4支部：人吉医療センター1階が床上浸水被害。

- ・近隣クリニックの患者受け入れ。
- ・2カ所の産婦人科が被害機能停止となり、人吉医療センターにて、分娩を受け入れた。
- ・産褥婦、新生児の必要物品不足、その他の対応に苦慮。

熊南3支部：地域の小規模施設の殆んど床上浸水。

- ・ボランティア活動が県内に限っているため人手がない。
- ・日々苦慮して高齢者ケアに務めている。

県南2支部：避難人数204名、殆どが坂本町と球磨村の住民。

- ・被災地から受け入れた患者は45名、寝たきりで経管栄養の方が殆ど。
- ・転院先の選択苦慮
- ・コロナ患者受け入れ施設の為ベッドコントロールに苦労している状況。

日赤支部報告：救護ボランティア活動者の意見より

- ・避難所での高齢者は遠慮が大きく見えにくい部分での問題が生じている。
- ・排泄我慢による諸々の症状(発赤・床擦れ・体臭・尿臭・等)。



人吉医療センター駐車場



人吉医療センター付近

2020年度 看護管理者等政策セミナーに参加して

県南1支部 支部長 田中裕貴



日時：令和2年8月1日(土) 13:40～16:30 会場：ホテル熊本テルサ テルサホール

1. 13:40～14:30

テーマ：熊本県における新型コロナウイルス感染症対策及び看護職を取り巻く政策

講師：藤川隆夫氏 熊本県議会議員(自民党県議団団長)

2020年2月21日を皮切りに熊本県における新型コロナウイルス感染者が発生しました。県政報告時は、いわゆる「第2波」以前でありました。そのため「第2波」に向けて、PCR検査可能機関の増加、コロナウイルス感染症病床の増加、軽症者の宿泊施設の借り上げなど、県を挙げて様々な対策に取り組まれています。「新型コロナウイルス感染症対策従事者慰労金給付」にも触れられ、県政報告会に参加した看護連盟会員に労いの言葉をかけられた。これはひとえに、藤川議員が医師であることから、看護師の業務を理解されていることだと思います。また、慰労金の事業は国の政策を都道府県が施行するようになっています。仮に県政に看護師の代表が存在していれば、看護師にとって、さらにより良い待遇に繋がることが期待できることから、看護師の代表は国会のみならず県政、市政にも必要であると感じました。

今後も、看護師が社会貢献できるように看護連盟の活動を通して、その基盤を強固なものになるように創意工夫をしていきたいと感じました。

2. 14:50～16:30

国政報告：新型コロナウイルス感染症対策等について

講師：たかがい恵美子氏(参議院議員)

新型コロナウイルス感染症治療薬候補について、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策について等の講演がありました。参加者からは「わかりやすかった」「報道されていない取り組みを聴くことによってより理解できた」「知らなかった事を聴くことができ安心感が持てた」「勉強になった」「看護師としてしっかり対応していかなければならないと感じた」「自施設での対応を考えていきたい」など多くの声が寄せられました。

2020年度 たかがい恵美子議員と豪雨被災状況報告会



日時：令和2年8月1日(土) 16:30～17:30 テーマ：豪雨被災状況報告会
会場：ホテル熊本テルサ 2階 さくら 参加者：11名

被災支部長からの報告(県南2・県南3・県南4・県北1)、矢野会長より被災地訪問時の報告があった。(詳細は支部災害報告欄P8～9を参照)

被災地の要望として、ボランティアの受け入れ制限問題、復興に向けての人・物資・助成金等の支援を速やかに隅々まで届くように！病院

の経営支援お願い等

たかがい議員は被災支部の報告に熱心に耳を傾け、一つ一つ受け止めながら、「視察議員を見かけたら、その場で現状を訴えることが大事。災害視察現場で危機を伝える事は議員の意識を高める。現場の声は、遠慮なく伝えて欲しい。会長を通してでも良い。対応できることは直ぐに動く。遠慮しないで届けてほしい。」と、力強い声掛けを頂いた。



LINE

みなさん登録は
お済みですか？

友だち追加で最新情報をお届けします！

日本看護連盟



たかがい恵美子
参議院議員



石田まさひろ
参議院議員



人を大切にする社会、働くことを楽しいと思える社会、明日に希望が持てる社会づくり Vol.32-8 令和2年8月31日発行



やいがい、いきがい。たかがい！

～成熟社会を創る看護力～

たかがい 恵美子の活動報告

参議院議員 高階恵美子事務所
東京都千代田区永田町 2-1-1
参議院議員会館 7 1 4 号室
TEL 03-6550-0714 FAX 03-6551-0714
<http://www.takagai-emiko.net>

感染防御力の向上と地域医療の補強

報道ライブ・インサイドOUTにゲスト出演させていただき、医療現場が直面する次なる危機について議論しました。国内流行初期の医療現場は、伝播力の強さも病態や予後も不確かな極めて過酷な診療環境で病と闘いました。その結果、予想以上に大きな痛手を負っている状況にもあります。医療は国民の安全安心を守る社会保障の柱のひとつです。幅広い分野の理解と協力を求め、一層の健全化と体制充実を進めていかなければなりません。



知恵と思いやりで困難に立ち向かう

熊本県全域から看護管理者が参集し、現下の複合災害への対応と今後の課題を議論しました。一刻も早い復旧復興を願うところ、現実には感染症対策の観点から広域移動を伴う支援が得にくい状況です。近隣地域での助け合いなど新たな知恵を絞り困難を乗り越える動きも始まっています。健康と暮らしの安寧をめざし、ともにがんばります。

健やかな育ち、油断なく



8月も平常通り政治活動をさせていただいております。今夏は文科部会長として、私学振興協議会にお招きいただきました。新型コロナウイルス感染症の国内流行によって学校教育の現場が直面した課題と今後必要な対応策について、幼小中高大それぞれの観点から検討を行いました。子どもの可能性を大切に育む学びの保障に、しっかり取り組みます。

冷静かつ大胆に、不安を払拭

新型コロナウイルス関連対策本部では、感染症の病態解明と予防や診断・治療法の確立、疫学データの集積・情報発信、医薬品等の研究開発、専門人材の育成配置その他感染制御インフラ整備など多様な課題に係る政策を打ち出してきました。予算編成を始め、秋以降は国会での議論も新たな段階へ進みます。そのため感染症有事の概念形成と法的基盤の整備、感染症有事における指揮及び実働体制の整備、雇用調整助成金の期間延長を含む雇用安定化措置等、政府が取り組むべき対策について提言をまとめました。人々の暮らしを脅かす感染症の脅威から脱出できるよう、冷静に粘り強く、課題に取り組んで参ります。

次なる復興創生へ、第9次提言



東日本大震災から10年となり、さらなる加速のための政策を発信する段階です。復興加速化本部では熱心な議論を重ね、産業振興と新たな防災体制のあり方を盛り込んだ第9次提言をまとめました。生活者の視点と社会情勢の変化に着目し、しっかりと人々に寄り添う政治を実現して参ります

Nursing now

看護の力で健康な社会を！

日本看護連盟は、日本看護協会と連携し“Nursing now”（看護の力で健康社会を！！）のキャンペーン活動を行っています。
 ナイチンゲール生誕200年になる2020年に向け看護職が持つ可能性を最大限に発揮し健康課題への取り組みの中心に立ち人々の健康向上に貢献するために行動する世界的キャンペーンです。
 健康な社会づくりに取り組んでまいりましょう。



カンタ君

レンコさん

2020年度の入会を受けています。

ベッドサイドからの声を国政に反映しましょう！

熊本県看護連盟の
 目標会員は **7,500人**です！

年会費

日本看護連盟会費 5,000円

熊本県看護連盟会費 2,500円 合計 7,500円

看護連盟会員入会状況

	H29年度	H30年度	2019年度	2020年度(9月15日現在)
看護協会(人)	15,134	15,723	15,866	15,434
看護連盟(人)	7,420	7,331	7,143	7,236
協会員比率(%)	49.0%	46.6%	45.0%	46.8%

お知らせ

若手会員・新入会員研修2

日時:令和2年10月9日(金)14時～ 会場:熊本県立劇場

東洋羽毛 睡眠セミナー 無料サービスのご案内

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛九州販売株式会社熊本営業
 所862-0913 熊本市東区尾ノ上1丁目7番3号
 フリーコール 0120-382808



編集後記

7月の豪雨災害で被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。9月には今までに経験したことがない勢力の大きい台風と報道された「台風10号」が通過しました。皆様も緊張の中いろいろ対策をたてられたことだと思います。予想されたほどの災害ではなかったことに一安心しました。

広報委員は新メンバーとなりました。今後もお互に一層頑張っていきます。

〇広報委員

市村 栄子 貞松由紀江
 守田 美紀 田尻 きみ

〇担当役員

岩城まつ子 村上 元子

お任せ下さい! 夢100%...心の栄養分
暮らしのコーディネイト



〒862-0920 熊本市東区月出8丁目3-52

取扱品目
 ●羽毛ふとん ●羊毛ふとん
 ●ダウンジャケット
 ●シルク織物
 ●ムートンカーペット etc



0120-32-2020

発行所/熊本県看護連盟

〒862-0950 熊本市中央区水前寺1丁目29番1号 ナビオ水前寺101号
 TEL (096)383-0023 FAX (096)383-0163
 E-mail office.kumamoto@kango-renmei.gr.jp
 HP http://knf043.sakura.ne.jp/

発行責任者
 矢野メリ子